

## 第8回 身近な生き物から見た尼崎の自然調査を実施します

尼崎市では、生き物の生息状況を調査することにより、自然環境を把握し、また調査を通じて尼崎の自然に興味を持ってもらうことを目的に、昭和50年から自然調査(生き物調査)を実施しています。市民の方々や事業者の皆様のご協力のもと、5年ごとに調査を実施しており、今年で第8回目となります。市全域を288区画に区切り、区画ごとに過去1年間に調査対象生物(全22種類)をどの程度の頻度で見たかをアンケート形式で調査しますのでお知らせします。

### 1 目的

- (1) 生き物の生息状況を調査することにより、本市の自然環境を把握するとともに、過去に実施された調査結果と比較することにより、自然環境の変化を把握します。
- (2) 生き物調査を通じ、参加者が尼崎の自然について興味を持ち、理解を深め、環境について考えるきっかけとします。

### 2 調査期間

令和4年7月21日(木)～8月24日(水)

### 3 調査場所

尼崎市全域(市域を228区画に分けており、好きな区画を3～4箇所選んで調査します)

### 4 調査方法

調査を行う区画を選び、調査対象となっている生き物(全22種類)について、「よく見かける」「時々見かける」「見たことがある」「見たことがない」の4段階で記入していただきます。調査期間は夏休み中ですが、過去1年間にどの程度の頻度で見かけたかについて回答していただきます。

### 5 対象

尼崎市立中学校2年生全員、環境保全協定締結事業所の社員ならびに本市の生き物に関心のある方

### 6 調査の手引き及び回答用紙

別添のとおりです。本市ホームページで入手可能です。また環境創造課にて書面で配布します。

【HPアドレス】(過去の調査結果も掲載)

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1031016.html>

### 7 提出期限

回答用紙は令和4年9月16日(金)までに郵送、FAX又は電子メールで環境創造課へ

### 8 実施主体

尼崎市環境創造課、尼崎市中学校理科教育研究会、尼崎の森中央緑地パークセンター

## 9 提出先・問い合わせ先

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23-1

尼崎市経済環境局環境部環境創造課(尼崎市役所中館9階)

電話：06-6489-6301 FAX：06-6489-6300

E-mail：ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp

以上

# 第8回 身近な生き物から見た尼崎の自然調査

## － 調査の手引き －

### 1 調査の目的

調査により尼崎の自然環境の現状や過去からの変化を把握することを目的としています。調査は専門家によるものではなく、学生を中心として、一般市民や事業者の皆さまのご協力のもと、夏休み期間に実施します。

そのため、調査結果も大切ですが、調査を通じて身近な生き物の様子を知ってもらうことも同じく大切です。「こんなところにこんな生き物がいたのか!」というように、この機会に尼崎の自然について興味を抱き、理解を深めてください。

### 2 調査対象生物の種類

調査対象生物は、全部で22種類です(「各生物の特徴」参照)。これらの生物の生息状況について、実際に自分で確認した結果を報告してください。

### 3 調査期間

調査期間は夏休み期間中の令和4年7月21日(木)～8月24日(水)ですが、過去1年間に観察した結果をもとに回答してください。

### 4 調査場所

尼崎市を228区画に分けておりますので、気になる場所や、関心のある場所を選んでください。危険な場所や立入りが制限されているような場所などには入らないでください。

### 5 調査方法

調査を行う場所を選び、地図上で区画番号を確認します。その後、区画内で、すべての調査対象生物(22種類)について過去1年間にどの程度の頻度で見かけたかを4段階で回答してください。

<4段階の判定基準>

- 1・・・見たことがない(全く見かけない。)
- 2・・・見たことがある(ほとんど見かけないが、探せばまれに見ることができる。)
- 3・・・時々見かける(たまに見る、時々見る、また探せば容易に見つけることができる。)
- 4・・・よく見かける(容易に見ることができる。)

### 6 回答用紙の記入(記入例についても確認してください)

- (1)名前・住所・学校名(学生)または通勤場所(在職者)の欄を記入してください。(個人情報については、自然調査に関する目的以外には利用いたしません。)
- (2)自分が調べた区画を地図で確認し、地図に書いてある番号を記入します。その区画内において、調査対象生物が確認できた頻度を1～4のランクに分類し、該当する数字を記入してください。なお、1枚の回答用紙で4区画分の調査結果を記入できますが、少なくとも1区画分以上は記入してください。
- (3)裏面のアンケートはご家族の皆さままで考えて、回答してください。

### 7 回答用紙の提出期限

令和4年9月16日(金)

郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法でご提出ください。(尼崎市立中学校2年生の生徒は各学校に提出してください。)

### 8 実施主体

尼崎市環境創造課・尼崎市中学校理科教育研究会・尼崎の森中央緑地パークセンター

### 9 提出・問い合わせ先

〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

尼崎市環境創造課

T E L:06-6489-6301

F A X:06-6489-6300

E-mail: [ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp)

以上

第8回 身近な生き物から見た 尼崎の自然調査 回答用紙

NO. \_\_\_\_\_

お名前	ご住所
学校名	学生の方のみ記入
お勤め先	

通勤場所について(在職の方のみ)  
1. 尼崎市外 2. 尼崎市外 (番号を記入してください。)

1: 見たことがない 2: 見たことがある 3: 時々見かける 4: よく見かける

調べた区画 (地図の番号)					
種類		調べた結果	調べた結果	調べた結果	調べた結果
1	スギナ(つくし)				
2	ススキ				
3	カタツムリ				
4	トンボ				
5	バッタ				
6	ツクツクボウシ				
7	セミ				
8	アオスジアゲハ				
9	アシナガバチ・スズメバチ				
10	カマキリ				
11	アメリカザリガニ				
12	ウシガエル				
13	その他カエル				
14	トカゲ				
15	ヘビ				
16	ツバメ				
17	スズメ				
18	シラサギ				
19	コウモリ				
20	ヌートリア				
21	カメ				
22	アライグマ				
他					

↑ その他、珍しい生き物、気になる動植物等がございましたら併せてご報告ください。

裏面のアンケートにもお答えください。

## 環境意識調査アンケート

尼崎市では計画的に環境問題に取り組んでいくために、「環境基本計画」を立て、取組を進めています。この度、現行計画を改め、新たな計画を立てることになりました。

市民の皆さまのご意見も反映させつつ、新たな計画を立てていきたいと考えておりますので、お手数ですが、本アンケートへの回答についてご協力をお願いいたします。

問1 深刻だと思う、急いで解決すべきと思う環境問題を1つだけ選んで番号を○で囲んでください。

- 1 地球温暖化・気候変動（二酸化炭素、省エネルギー、再生可能エネルギーなど）
- 2 ごみの削減（リサイクル、食品ロス、脱プラスチックなど）
- 3 大気汚染（排気ガス、悪臭など）・水質汚濁（河川の汚染など）
- 4 生態系の保全（野生生物の絶滅、生物多様性、外来種など）
- 5 資源の枯渇・不足（レアメタル、石油・天然ガス、食料など）
- 6 その他（）
- 7 特にない、環境問題に関心はない

問2 次に示す環境問題を解決するために最も有効だと思う取組を①～⑩の選択肢の中から1つずつ選んで、回答欄に数字を記入してください（回答する選択肢は重複しても構いません）。

地球温暖化・気候変動		ごみの削減		大気汚染・水質汚濁	
生態系の保全		資源の枯渇			

### 【選択肢】

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| ① 移動時は自転車・徒歩で移動している（自動車の利用を控える）   | ⑪ 洗剤は必要以上に使わない     |
| ② オーガニック商品（食品、衣類など）を選ぶ            | ⑫ 水筒（マイボトル）を持ち歩く   |
| ③ 不要な照明はこまめに消す                    | ⑬ 冷暖房は適切な設定温度にする   |
| ④ 長持ちする・修理できる製品を選ぶ                | ⑭ レジ袋を断る（マイバッグを持参） |
| ⑤ 洗面台・風呂などで水・湯を流しっぱなしにしない         | ⑮ 釣り・虫捕りなどで自然に親しむ  |
| ⑥ 自然観察に参加する                       | ⑯ 食べ残しが出ないように意識する  |
| ⑦ ごみは分別ルールにしたがって捨てる               | ⑰ その他              |
| ⑧ 不用品・リサイクル品をネットやリサイクルショップで売り買いする | ⑱ わからない            |
| ⑨ 地元で生産された野菜を食べる                  | ⑲ 特に取組は必要ない        |
| ⑩ 省エネ型の電化製品を選ぶ                    |                    |

問3 問2で答えた取組を日常的にどれぐらい行っていますか。あなたの状況に最も近いものを選んで番号を○で囲んでください。

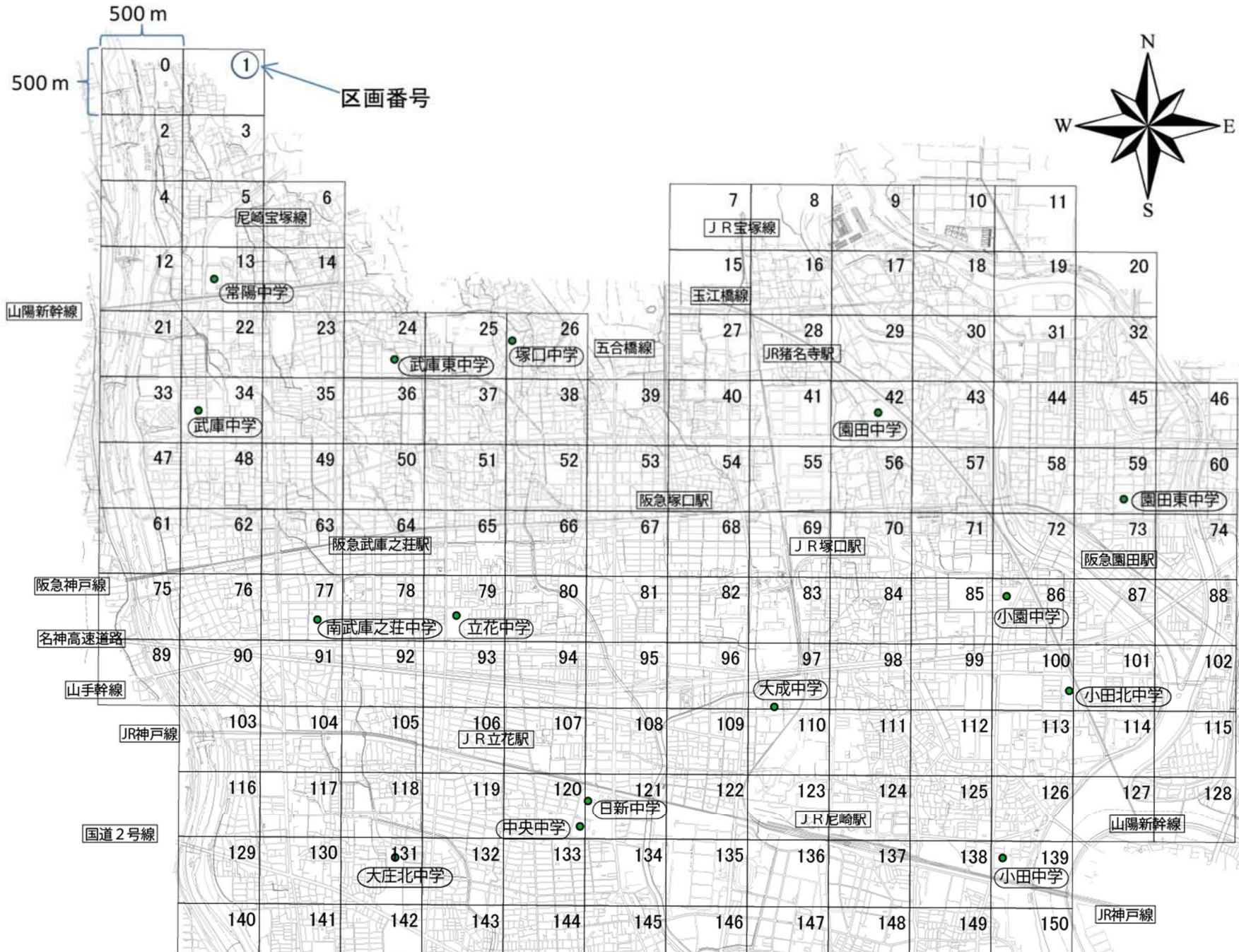
- 1 ほぼ全ての取組を日常的に行っている。
- 2 大体の取組を時々行っている。
- 3 ほとんどの取組を行っていない。
- 4 今後は何らかの取組を行ってみたい。

問4 30年後（2050年ごろ）の尼崎市の環境はどのようになっていると思いますか。1つだけ選んで番号を○で囲んでください。

- 1 今よりもよい環境になっていると思う。
- 2 今と同じぐらいの環境のままだと思う。
- 3 今よりも悪い環境になっていると思う。
- 4 わからない。















ご協力ありがとうございました。

# 第8回 身近な生き物から見た尼崎の自然調査 市内区画番号(北部) (南部は裏面)





## 第8回 身近な生き物から見た尼崎の自然調査(各生物の特徴)

<b>1. スギナ(ツクシ)</b>	ツクシの現れる時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
日当たりの良い田のあぜや土手。														
◇ 3月頃に地上に出てくるツクシは、シダ植物であるスギナの孢子体。うすい茶色で、「袴(はかま)」と呼ばれる茶色の輪状の葉が茎を取り巻いている。ツクシは昔から、おひたしや佃煮として食べられている。草丈は11~15cm程度。ツクシは孢子を飛ばすと枯れてしまいが、その後、緑色でスギの葉に形が似たスギナが伸びてくる。スギナも秋には地上部が枯れ、地下茎のみが残り、春先、再びツクシが伸びる。														
<b>2. ススキ</b>	花の咲く時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
日当たりの良い草原。														
◇ 秋の七草のひとつ。株を作り、多数の茎が立つ。草丈は1~2m。葉は細長く、縁は鋭い鉤状になっている。茎の先端に長さ20~30cm程度の十数本に分かれた花穂をつける。種子には白い毛が生えており、穂は全体的に白っぽくみえる。種子は風によって飛ぶことができる。似た姿をもつものに、オギ、ヨシなどがあるが、オギ、ヨシは株立ちせず、一本一本が茎を立てる。また、花の先端に「のぎ」と呼ばれるトゲのようなものがあるのはススキだけの特徴。														
<b>3. カタツムリ</b>	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
落ち葉が多く、草木の生えた湿った場所。														
◇ 陸上に棲む巻き貝であり、白色や褐色の堅い殻をもつ。雨降りなどの湿った状態を好んで活動するため、梅雨の時期に多く見かける。また、コンクリート塀等で、殻を作るためのカルシウムを摂っていることもある。日本産では1mm前後のものから数cmのものまである。一般にカタツムリと呼ばれる貝には、頭部に触角が2対あり、大きい触角の先端には眼がある。カタツムリは乾燥に弱い。貝に蓋はなく、乾燥に耐えるために、殻に閉じこもり、殻の入り口に膜を張り、水分を保持して次の雨を待つ。														
<b>4. トンボ</b>	成虫が観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
河川、湖、池沼などの水辺や草原。														
◇ 細長い4枚の翅(はね)と細長い腹部をもつ昆虫。体や羽の色、模様は種により様々。日本一小さいトンボはハッチョウトンボで、体長が2cm程度。(1円玉の直径とほぼ同じ)。日本一大きなトンボはオニヤンマで、体長は8~11cm。水辺があれば、池、川、プールでも飛んでくる。前・後翅の形が同じイトトンボの仲間と、前・後翅の形が異なるシオカラトンボなどの仲間で大別される。オスとメスで体色の異なるものも多い。														
<b>5. バッタ</b>	成虫が観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
河原や草原。														
◇ 後足の筋肉が発達し、強く跳びはねることができる。外敵が近寄ると、跳躍と同時に4枚の翅(はね)を開いて飛んで逃げる。幼虫の頃から成虫のバッタと同じ形をしており、脱皮を繰り返して成長する。バッタの仲間は全て草食であり、触覚が短く、翅と足をこすりあわせて鳴く。コオロギなどギリギリスの仲間は肉食のものが多く、触覚が長く、翅どうしをこすりあわせて鳴く。どちらも草地に生息するものであるため、見つけた場合はバッタとして記録する。														
<b>6. ツクツクボウシ</b>	声を聞ける時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
広葉樹のある平地~山麓														
◇ 声の確認で調査する。夏の終わりが近づいてくると「ツクツクボウシ、ツクツクボウシ」と鳴き始める。翅は透明で、大きさはクマゼミよりやや小さい。オスの方が腹部が長い分メスより大きい。頭部は緑色で後胸部の中央にもW字型の緑の模様があるが、腹部は黒色が多い。動きが早く、声のする方に近づくと、すぐに飛んで逃げってしまうので、姿を見ることは難しいが、鳴き声は他に間違えるものはいないので、声を聞いたら「見た」として記入する。														
<b>7. その他のセミ</b>	成虫が観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	 
広葉樹のある平地~山麓。														
◇ セミは樹木がないと生きていけない。夏に交尾したメスは樹木に卵を産みつけ、多くのセミではこの卵は翌年の6月に孵化して地中にもぐり込み、そこで木の根から吸い上げられる養分をとり脱皮を繰り返して大きくなり、成虫になるのに1~5年といわれている。最後の脱皮のあと、地上に出て、木の幹や枝、葉先等で羽化する。従って、セミは公園や樹林地に多く見られ、木の種類の多いところに集まる傾向がある。視認より、鳴き声による確認の方が容易な生物である。														

市ホームページでは写真をカラーで確認できるほか、過去の調査結果も閲覧できます。

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1031016.html>

(トップページ - くらし・手続き - 環境・緑化・公害 - 環境保全・緑の街に

- 身近な生き物から見た尼崎の自然調査)



<p><b>8. アオスジアゲハ</b></p> <p>成虫が観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>林の周辺や都市部。特に、クスノキ科植物の周辺。</p> <p>◇ 南方系のチョウ。尼崎市など都市部で最もよく見かけるチョウのひとつである。幼虫はクスノキ・ヤブニッケイ・タブノキなどのクスノキ科の植物を食べる。クスノキは常緑樹で寿命も長く、都市の緑化に利用されてきた。このため、食草の豊富な都市部で増えてきたと考えられている。成虫の翅は黒色で、前翅と後翅を貫くように鮮やかな青緑色の帯があるのが特徴。高いところを素早く飛んでいることが多い。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		 <p>アオスジアゲハの幼虫</p>
<p><b>9. スズメバチ アシナガバチ</b></p> <p>成虫が観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>草原、人家。</p> <p>◇ チョウやガの幼虫(ケムシやアオムシ)を狩ることが多い。食物連鎖上位の肉食系のハチ。本来は幼虫の餌となる昆虫が豊富な草地を必要とするが、ジュースの飲み残しなど、市街地には成虫の餌となるものも多いため、近年市街地に生息地を移し、都市部の昆虫を狩って子育てする種類がいると言われる。特に秋季は攻撃的になるので注意が必要である。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>	 <p>スズメバチ</p>	 <p>アシナガバチ</p>
<p><b>10. カマキリ</b></p> <p>成虫が観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>川原や林縁の草むら。</p> <p>◇ 体長は2~9cmであり。色は緑色か茶色である。体は細長く、6本の脚のうち、前脚が鎌(かま)状になっている。鎌には多数のトゲがある。頭部は逆三角形で、2つの大きな複眼(ふくがん)をもつ。おもに昆虫を捕食し、捕食時には、鎌状の前脚で獲物を捕える。前脚を持ち上げて獲物を待ち伏せする姿が手を合わせて祈っているように見えることから、「拝み虫(おがみむし)」とも呼ばれる。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		 <p>カマキリの卵</p>
<p><b>11. アメリカザリガニ</b></p> <p>観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>平野部の水田、用水路、池など、流れのゆるい泥底の水辺。</p> <p>◇ 北アメリカ原産の外来種であり、体長は10cm程度。体色は赤茶色。第1脚が大きなハサミとなっており、特にオスのハサミは大きく発達する。天敵はブラックバス・ウシガエル・サギ類などである。外敵に対して、鉗をふりあげて威嚇することもある。水草・小魚・水生の昆虫・動物の死骸など何でも食べる雑食性。元々、ウシガエルの餌として日本に持ち込まれたものが逃げ出し、現在は北海道を除く日本全国に広く生息している。緊急対策外来種に指定されており、野外に放してはならない。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
<p><b>12. ウシガエル</b></p> <p>観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>水路、川、池、田んぼ。</p> <p>◇ アメリカ・カナダ原産だが、食用として世界中に導入され、各地で定着している。成体の体長は11~18cmと大型で、昆虫・カニ・エビ・魚類などの小動物を捕食していることが報告されており、生態系への悪影響が懸念されている。「世界の侵略的外来種ワースト100」に選定されているほか、日本では「特定外来生物」にも指定されている。水辺の茂みや水面から「ウォー、ウォー」と牛のような声が聞こえたら本種である。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
<p><b>13. その他カエル</b></p> <p>観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>水路、川、池、田んぼ。</p> <p>◇ 市内ではニホンアマガエル、ヌマガエル、ツチガエル、トノサマガエルなどが見られる。なかでもニホンアマガエルは指先に吸盤があり、樹木やコンクリートの壁などをよじ登ることができるため、他のカエルよりも移動能力が高く、市街地で見られることも多い。幼生の頃はオタマジャクシと呼ばれ、水中でエラ呼吸するが、カエルになると肺や皮膚で呼吸するようになる。水辺環境の悪化や病原菌などによる影響で、世界的に個体数の減少や絶滅の危機が報告されている。種によって異なる鳴き声を持つ。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>	 <p>トノサマガエル</p>	 <p>ニホンアマガエル</p>
<p><b>14. トカゲ</b></p> <p>観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>人家の周辺、日当たりの良い草地や石垣など。</p> <p>◇ 体長は16~25cm。幼体と成体で体色が著しく違う。成体の体色は茶色で、体の側面には濃い茶色の線があるが、幼体は黒っぽく、体に5本の金色の縦線があり、鮮やかな青色の尾をもつ。春や秋の晴れた日には、日当たりの良い場所で日光浴する姿がよく見られる。尾をつかまると簡単に切れて、切れた尾が激しく跳ねまわる間に逃れる。形態がよく似たものとしてカナヘビがいるが、カナヘビは皮膚がザラザラとした感じがするのに対し、トカゲは光沢がある。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>	 <p>ニホントカゲ(成体)</p>	 <p>ニホントカゲ(幼体)</p>
<p><b>15. ヘビ</b></p> <p>観察される時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p> <p>水辺、草原。人家周辺。</p> <p>◇ 手足が退化し、細長い体は鱗に覆われている。細長い体をくねらせて波のような動きで進む。体長80~250cm程度。カエルやネズミ、小鳥などを食べる。農家では穀物を食べるネズミを狩るので大切にされてきた。嗅覚が発達しており、舌をひらめかせることによって臭いを感じ、獲物を追う。目と鼻の間に赤外線(動物の体温)を感じ取る器官をもつものもある。</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>	 <p>ヤマカガシ</p>	 <p>シマヘビ</p>

16. ツバメ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	人家の軒先、水辺。												
<p>◇ 日本では九州より北で繁殖する夏鳥で、頭部から背中にはつやのある黒色、額と喉は赤色、胸の上部に黒い帯、腹が白といった特徴がある。尾羽の両端が長く深いV字型で、オスの尾羽はメスより長い傾向にある。</p> <p>巣は上部が開いたお椀型をしている。民家や商店の軒先など、人通りの多い場所に泥と枯草で巣を作る。これは、ヒナや卵を狙う天敵であるヘビ、カラスやスズメが近寄らないためだと考えられている。</p>													
17. スズメ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	人家の近く。												
<p>◇ 全長は14～15 cmで体重は18～27 g程度。頭から背中が茶褐色で、白い頬に黒い斑点があるのが特徴。喉と目の周りも黒い。鳴き声は一般的に、「チュンチュン」と表され、地上では両足で飛び跳ねながら移動する。雑食性であり、地上で草の種子や人の食べ残しを食べている姿をよく見かけるが、春から夏の繁殖期には昆虫をよく食べており、害虫の抑制にも貢献している。繁殖期にはオス・メスのつがいの子育てをするが、秋から冬には大きな群れになって行動する。</p>													
18. シラサギ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	池や河川、田んぼ、海岸沿いなど。												
<p>◇ ペリカン目サギ科に属する鳥を総称してサギと呼ぶ。水辺を主なすみかとする水鳥で、長いくちばしと脚を持っており、飛ぶときに首をS字に折り曲げるのが特徴である。シラサギとは白いサギの総称でコサギ、チュウサギ、ダイサギなどが代表例。一般にコサギとダイサギは河川で魚類・カエル類・甲殻類を、チュウサギは水田で昆虫類を主に捕食しており、生息場所に違いがあるが、いずれも餌となる生物の多さを示す指標になる。この他に灰色(アオサギ)、紺・白色(ダイサギ)、オレンジ色(アマサギ)も生息する。</p>													
19. コウモリ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	田んぼや、市街地。餌の集まる街灯付近や水辺の上空に多い。												
<p>◇ 灰色がかった茶色。体長8 cm～25 cm。夜行性。昼間は主に洞窟や樹洞、人家の屋根裏などのねぐらで休み、夜間にカ、ユスリカ、ヨコバイなどの昆虫類を主とする餌をとるために飛び回る。最も身近に見られるのはアブラコウモリで、市街地を中心として、平野部に広く分布する。日没後2時間程の時間帯に最も活発に活動する。</p>													
20. ヌートリア	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	水辺付近												
<p>◇ 上毛は褐色で長く粗い。下毛は暗い灰色で防水性が高い。鼻先の毛は白い。頭部は大きく体はずんぐりしているひょうたん型であり、後足には水かきがある。オレンジ色の大きな前歯もっている。食性は草食であり、ヨシなどの水辺の植物の葉や茎を食べている。水辺の土手に穴を掘って住んでおり、日中も活動するが、基本的には夜行性である。南米原産の外来生物であり、高い環境適応能力と繁殖能力をもっており、環境省により特定外来生物に指定されている。</p>													
21. カメ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	池や河川、水路などの水辺												
<p>◇ 市内で見られる多くは、ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)。アメリカからペットとして持ち込まれ野生化した外来種。体は全体的に緑色で、目の後ろが赤い。池や河川の護岸でよく甲羅干しをする姿が見られる。また、クサガメも大陸から移入された種である。その他、市内には在来種のイシガメ、スッポンが生息する。クサガメは、体が比較的黒いのが特徴。スッポンは扁平で柔らかい甲羅をもち、鼻が尖っている。イシガメは極めて少ない。なお、ミシシippアカミミガメは緊急対策外来種に指定されている。</p>													
22. アライグマ	観察される時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<p>◇ 頭胴長40～60cm、尾の長さ20～40cm。毛色は灰色～茶色。長いシマシマ模様の尾があり、目の周りの黒い部分が、左右に長い帯状の模様になっていることが特徴。よく似たタヌキは、尾がやや短く、シマシマは無い。目の周りの黒い部分は帯状にならず、顔の下半分全体が黒いことで区別できる。可愛らしいが気性が荒く、見かけても決して近づかないこと。生態系や人への影響が大きく特定外来生物に指定されている。</p>													



コサギ



ダイサギ



ミシシippアカミミガメ



## \* 写真提供

ツクツクボウシ(HP「ぶんぶん・ぷらっと・・・写真ブログ」様)

スズメバチ(吉田様)

スズメ(HP「ほくせつの生き物」(下山様))